



2014.5.30発行
岡山大学
医療教育統合開発センター
TEL/FAX:086-235-6597

TOPICS

新任のご紹介

平成26年4月付けで、内海方嗣先生が臓器移植医療センターへ異動されました。

また、平成26年5月より、万代康弘先生が当センターに着任されました。

平成26年4月より、スタッフとして、小谷和夫が加わりました。

ごあいさつをいただきました



本年度5月より、医療教育統合開発センター助教を務めさせていただきます。消化管外科の万代康弘と申します。

臨床現場で生きる教育の普及をモットーに頑張っております。また、学ぶことはとても楽しいことです。その楽しさを皆さんと共有したいと考えております。どうぞ宜しくお願いいたします。

報告

MaPSim 2nd 開催いたしました

昨年度も好評をいただきました**MaPSim**の第2回目を、**NPO**法人岡山医師研修支援機構主催、医療教育統合開発センター共催にて開催致しました。

シミュレーション教育に携わる全ての人を対象としたワークショップで、講師として**Hawaii**大学医学部**SimTiki**シミュレーションセンターディレクターの**Dr.Berg**、チーフシミュレーションスペシャリストの**Ms.Kris Hara**をお招きし、シミュレーションセンターの運営方法のノウハウや、実際のシミュレータを動かすプログラミングも学べる内容でした。

日本中から医師、看護師、シミュレーションスペシャリスト（シミュレータに精通した人）等総勢36名にご参加いただきました。シミュレーション教育を行うにあたっての必要な要素、人材、また各職種での協力が必要ということも、このワークショップを通じて訴えることができたのではないかと思います。次回第3回も開催予定です。



SimMan 3G講習会 開催いたしました

SimMan 3Gと**ALS**シミュレータの講習会を地域医療人材育成講座主催、医療教育統合開発センター共催で開催致しました。看護部や地域医療人材育成講座からご参加いただきました。

シミュレータに熟知しているメーカーの担当者を講師にお呼びし、シミュレータで何が出来るかという臨床機能を実際にシミュレータを触りながら確かめ、またシナリオのプログラミング方法まで学べるという内容の濃い講習会でした。今後様々な科でシミュレータを有効活用していただき、多職種連携につなげる事ができたらと思います。



医療教育統合開発センターのホームページでは学内、院内の各シミュレーションラボをご紹介しています

模擬患者（SP）セミナーを開催いたしました

平成26年2月15日（土）にMUSCAT CUBEにて中四国模擬患者スキルアップセミナーを開催致しました。模擬患者さんのスキル向上を目的として毎年開催しております本セミナーも今年で3回目となりました。

今回は看護・保健領域における模擬患者参加型教育に焦点を当て、島根県立大学看護学部の准教授、松本亥智江先生および本学大学院保健学研究科看護学分野の助教、小出恵子先生にご講演いただきました。

看護と保健のシナリオを実際にロールプレイすることで、非常に有意義な勉強の場となったと、たくさんの感想をいただいております。

中四国で活躍する12名の模擬患者さんにご参加いただきました。来年度も引き続き開催を予定しております。



IMSHへ参加しました



平成26年1月25日-30日にかけて、サンフランシスコで開催されました、SSH（Society for Simulation in Healthcare）の国際学会である、International Meeting on Simulation in Healthcare（IMSH2014）に当センターより2名が参加いたしました。

最新のシミュレーション教育に関する情報を得ることができたと同時に、日本との規模の違いに驚かされました。

参加者一同、とてもよい刺激を受けることができました。今後の教育に生かしていきたいと思っております。



WGEA2014へ参加しました



平成26年3月23日-25日に、ハワイ大学で開催されましたWGEA（Western Group on Educational Affairs）2014 へ当センターから三好先生が参加されました。医学教育と医学教育者の養成に関する研究発表やシミュレーション教育に関する情報交換が行われました。

お問合せ

医療教育統合開発センター（管理棟5F）

TEL/FAX：086-235-6597

HP：http://www.okayama-u.ac.jp/user/cdmhe/